

【別表A(5)－1(公益充実資金の明細)】

下表の水色欄(■)を記載ください。黄色欄(■)は自動計算されます。

1. 公益充実資金の前年度末明細

公益充実資金の前年度末値を確認します。

前年度末				
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	残高
新システム開発補助・運用保守管理資金	費用	2029	52,000,000 円	51,212,243 円
			円	円
			円	円

2. 公益充実資金の本年度末明細

公益充実資金の本年度末値を確認します。

当該事業年度開始日(西暦)	2025/4/1
---------------	----------

本年度末					
前期末残高		取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高
51,212,243 円		4,279,000 円	4,279,000 円	27,000,000 円	73,933,243 円
					110,212,243 円
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	取崩額(個別)	備考
新システム開発補助・運用保守管理資金	費用	2029	51,212,243 円	4,279,000 円	
DXの推進	費用	2028	46,000,000 円	0 円	
開園記念事業	費用	2030	13,000,000 円	0 円	

3. 公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値(中期的収支均衡の50%超繰入れ時用)

中期的収支均衡の観点で、50%を超えて繰入れをする際に使用する公益充実資金の各種算定値を確認します。

各資金の明細		期首積立内訳(算定値)	残り必要額(算定値)	支出までの残存期間	活動毎積立基準額(算定値)	積立基準額(算定値)
新システム開発補助・運用保守管理資金	費用	0 円	51,212,243 円	45 月	13,656,598 円	27,598,462 円
DXの推進	費用	0 円	46,000,000 円	47 月	11,744,681 円	
開園記念事業	費用	0 円	13,000,000 円	71 月	2,197,183 円	

4. 公益充実資金と公益目的事業費率、使途不特定財産上限との関連値

公益目的事業費率及び使途不特定財産上限との関係で、公益充実資金における必要な値を確認します。

各資金の明細		積立内訳(算定値、公益実施費用額に算入)	取崩内訳(公益実施費用額から控除)
新システム開発補助・運用保守管理資金	費用	12,546,070 円	
DXの推進	費用	11,269,165 円	
開園記念事業	費用	3,184,764 円	
合計		27,000,000 円	4,279,000 円

【別表A(5)－2(公益充実資金の明細)】

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	新システム開発補助・運用保守管理資金
当該活動の内容	令和7年度の新システム導入に向けたシステム開発補助及び導入後5年間のシステム運用保守管理のため、専門知識・技能を持った派遣人材の受入れに要する費用に備えるもの。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2023 年 月 ～ 2029 年 月 月数 (72 月)
所要額の算定方法	次の①②の派遣人材の受入れに要する費用計52,000,000円を積立限度額とした。①システム開発補助費12,000,000円(6,000,000円×1名2年間)②運用保守管理費(4,000,000円×2名×5年間)

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	DXの推進
当該活動の内容	建設技術課は、市町村支援をはじめ様々な業務を行っている。業務の効率化を図るため、4つの項目についてDXを活用する準備を進める。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2026 年 3 月 ～ 2029 年 3 月 月数 (36 月)
所要額の算定方法	【1】橋梁点検のAI活用 近年の点検費を踏まえ3者のAI点検費900万円、精度検証費300万円の合計1,200万円を計上する。 【2】遠隔臨場システム導入 見積による遠隔臨場機能オプションの試行費600万円、今までの協会システムの改修費を基にシステム改修費600万円の合計1,200万円を計上する。 【3】工事成績評価システムの提供 今までの協会システムの開発費を基に、システム開発費1,200万円を計上する。 【4】ヘルプデスクの効率化 今までの協会システムの開発費を基に、システム開発費1,000万円を計上する。 上記の4項目について、合計4,600万円を積立限度額とする。

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	開園記念事業
当該活動の内容	当協会は、9つの公園を管理しており、これまでの指定管理期間内において、様々な自主イベントを実施することで集客を図り、もって利用者サービスに努めている。 次期指定管理期間(R8～R12)においては、牧野ヶ池緑地(70周年:R9)、大高緑地(65周年:R10)、小幡緑地(70周年:R9)、新城総合公園(45周年:R12)、尾張広域緑道(40周年:R11)、あいち健康の森公園(35周年:R11)、東三河ふるさと公園(20周年:R8)、愛・地球博記念公園(20周年:R8)、油ヶ淵水辺公園(10周年:R9)で開園周年イベントを開催する予定であり、イベントの委託費や印刷製本等を準備する。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2026 年 3 月 ～ 2031 年 3 月 月数 (60 月)
所要額の算定方法	これまでの開園周年イベント実績を基に、近年の物価上昇を踏まえ、愛・地球博記念公園のイベント開催費用500万円、その他8公園のイベント開催費用800万円とし、合計額1,300万円を積立限度額とする。